

特集

合併70周年特別企画

みはる まちなか いまむかし

昭和30年代に
レッツ&ゴー！



三春町は昭和30年に三春町、沢石村、要田村、御木沢村、中妻村、中郷村との合併、および巖江村の一部（山田・上舞木・下舞木）を編入し、令和7年に合併70周年を迎えました。今月号から、町の変遷を写真で追っていく今昔コーナーをスタート。第1回目は、合併して間もない昭和30年代のまちなかを、三春小学校の6年生の皆さんと一緒に写真でタイムトリップしました。懐かしいと思う方も、新鮮！と思う方も、三春町の歴史に思いを馳せてください。

大町四つ角から 荒町方面①

昭和37年
大河原輝男氏
撮影



同じ場所で近年撮影したもの

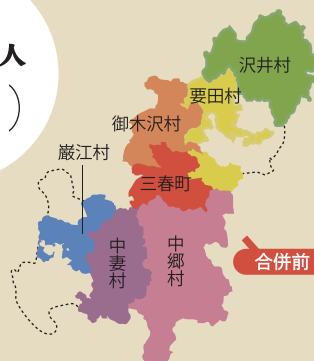


今とずいぶん
違うね！

表紙を飾った写真は荒町四つ角から荒町方面のもの。道路に沿って商店がずらりと軒を連ねています。正面の法蔵寺の左側の大きな建物は、昭和27年に開設された第一保育所。道はコンクリートで舗装されているものの、まだ歩道も信号ありません。昭和40年代から道路の整備が進み、平成2年施行の「美しいまちをつくる三春町景観条例」により、道路の拡幅や無電柱化もはじまり、現在の通行しやすい道に変化しました。

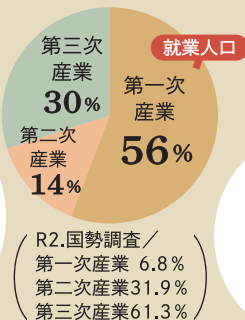
昭和30年の三春町

1町6村の合併により誕生した三春町。巖江村は三春町の他、西田村（当時）と郡山市に一部編入されました。



人口
24,388人
(R7.4月現在 16,138人)

世帯数
4,264戸
(R7.4月現在 6,128戸)



決算
9,207万円
(R5.決算 103億775万4千円)

昭和30年の出来事

- 自由民主党誕生、55年体制が確立
- ヘレン・ケラー来日